

## わが職場

坂出市街から程近い綾川の河口近くに株式会社石垣坂出工場があります。

当社の本社は東京ですが、昭和三十三年に現在の坂出市中央町で創業し、その後昭和四二年に現在の工場がある坂出市尻尻町に移転し、現在まで半世紀以上に渡って香川の地で育った生粋の地場企業であります。

当社は、創業以来、ろ過機、分離機、大型ポンプ、ウォータージェット推進機の専門メーカーとして上下水処理場、産業界における生産プロセスや廃水処理またポンプ施設など、さまざまな分野で地球環境における水を支え守り続けながら、事業展開を図ってまいりました。同時に「信頼に技術で応える」を企業理念として、時代が求めるニーズに合致したソリューション商品を開発提供して、国内外より高い評価を受けています。

それらの製品を生み出しているのが当坂出工場です。坂出工場は約五三、〇〇〇㎡の地に高精度の加工を行なう機械加工工場、どのような環境でも最大限の能力を発揮できるように六〇tクレーン二基を始めとした重量物の組立も容易な組立工場からなり、又、その建屋屋内には深さが一二メートルにも達する、容量約

六、〇〇tのポンプ試験水槽が設置されています。

当社坂出工場は機械器具製造業に属し、その扱う製品は重量物を多く取り扱っており、わずかな気の緩みやミスが災害や事故に繋がる要因をはらんでいます。ただ最近では設備が原因となる事故よりもむしろ日常的な行動に起因した事故が増えています。幸い大事故にはいっていないものの、今後労働災害を考える大きな要素であることは間違いありません。

災害が発生していないから、危険・有害のない現場とは言えません。そこで現場に潜在する危険を災害に結びつく前に予防する活動として、安全衛生委員による工場内安全パトロール、リスクアセスメントの実施など、不安全状態・不安全行動への指導および改善、教育を行ない、労働災害の未然防止に向けた活動に積極的に取り組んでいます。

安全に対しては安全衛生委員会等を通じ比較的指摘論議される傾向は強いと思われませんが、見逃してはいけないのは衛生面です。特に長時間労働、メンタルヘルスケアには注力しています。当社の年間休日は一二五日であり比較的休日が多いと思われれます。しかしながらその一方で、有給休暇の取得率は年間を通して決して高いとはいえない状況にあります。そこで、有給休暇の取得率向上のために労働組合と協力して、年間二日間

の計画年休制度を平成十年に導入しました。また、それとは別に昨年初めて社員一斉計画年休を導入して、更なる有給休暇の取得率の向上に努めています。

また月に二回、第一・三水曜日をノー残業デーとして定め、仕事のオンとオフの切り替えを促進しています。

メンタルヘルスケアについては、ラインケアを担う管理職層がメンタルヘルスについての十分な知識と認識が必要と捉え、管理職を対象としたメンタルヘルス教育の講習会を行ない、メンタルヘルスの問題を抱えた従業員の早期発見、発症者の円滑な職場復帰につなげています。

「安全は社員福祉の原点であり、全ての管理の基本である」との考えの下、従前から労働安全には力を入れて取り組んできました。これが評価され、昨年七月には「労使協力して労働安全衛生活動を積極的に推進し、安全衛生水準が優秀である」として香川労働局長より奨励賞を受賞しました。

今後も、労使一体となって安全衛生意識を高め、労働災害の防止ならびに快適職場の促進を図り、安全衛生の水準向上を推進して、心身ともに健康で、安全、安心に働くことのできる職場づくりを目指していきます。